MUM'S CARRY™

マムズキャリーエクセレントⅡ

チャイルドシート

保　証　書

保証期間：お買い上げから1年間

※お買い上げ時に、**お客様名**・**お買い上げ日**・**販売店名**をご記入ください
もしくは、**お買い上げレシート**を添付してください。
※本保証書は**再発行致しません**ので、紛失しないようにご注意ください。

お買い上げ年月日	年　月　日	
商品名	マムズキャリーエクセレントⅡ チャイルドシート	
お客様	ご住所	〒 TEL（　　）　－
	お名前	
販売店	住所	〒 TEL（　　）　－
	販売店名	

企画・輸入元
株式会社 シーエー産商
本社：〒480-0201 愛知県西春日井郡豊山町大字青山字東栄51
TEL：0568-28-5333　FAX：0568-28-5340
www.ca-sansho.co.jp

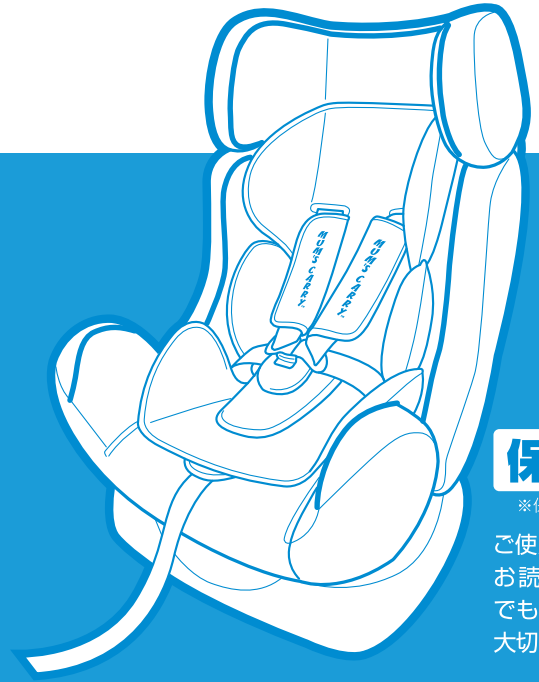
MUM'S CARRY™

マムズキャリーエクセレントⅡ

チャイルドシート

取扱説明書

ヨーロッパ規格
適合品
ECE R 44/04
UNIVERSAL
0-18kg Y
15-25kg
E13
045105
LB-719
B12091529



保証書付

※保証書は裏面にあります。

ご使用の前に、必ずよくお読みください。いつでもご確認できるように大切に保管してください。

※本革シートのお車には、シートが傷むおそれがありますので、そのまま取り付けしないでください。お取り付ける場合は保護シート等を敷いてからお取り付けすることをお薦め致します。

ご使用になる前に、安全のため必ずお読みください。

ご利用にあたって

本書を読んでいただくためのポイントマークについて

下記のポイントマークは安全に関する内容ですので、必ず守っていただき本製品をご使用ください。

⚠ 警告

事故につながったり、生命の危険、重大な傷害の恐れがある事を記載しています。

⚠ 注意

安全のため、ご注意していただきたい事を記載しています。

補足

より安全・快適にご使用していただく上で、知っておいていただきたい事を記載しています。

✕ 図に表示している行為の禁止を示しています。

MUM'S CARRY.

マムズキャリー エクセレントⅡ

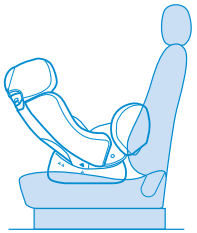
チャイルドシート

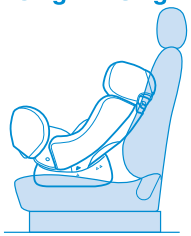
●本装置はヨーロッパ規格に適合していますが、一部のお車には取り付けできない場合があります。
●本装置は、3点式巻取装置付座席ベルトを装備している座席にのみご使用できます。（2点式シートベルトの座席にはご使用できません。）
●ご不明な点は、お買い上げの販売店または輸入元にお問い合わせください。

本製品をご使用いただけるお子様のめやす

「チャイルドシート」は、お子様の年齢や体重により取り付け方が異なりますので、ご使用の前にお子様に合った取り付け方法を確認し、ご使用ください。

ベビー〈グループ0+〉	チャイルド〈グループⅠ〉	ジュニア〈グループⅡ〉
車のシートベルトでチャイルドシートを固定、子供用ベルトでお子様を拘束します。		子供用ベルトを取り外し、車のシートベルトでお子様を拘束します。
〈年齢のめやす〉 新生児～1歳半ころ	〈年齢のめやす〉 9ヶ月～4歳ころ	〈年齢のめやす〉 3歳～7歳ころ
〈適用体重〉 ～13kg	〈適用体重〉 9kg～18kg	〈適用体重〉 15kg～25kg
お車の進行方向に対し **必ず後ろ向き**で使用します。	お車の進行方向に対し **必ず前向き**で使用します。	お車の進行方向に対し **必ず前向き**で使用します。





⚠ 警告 お子様の体重が9kgを超えるまでは、前向きでの使用はお控えください。また、横付け座席や後向き座席では取り付けないでください。

補足 年齢のめやすは、あくまでも“めやす”です。体重条件を満たしていないお子様は、ご使用になれません。

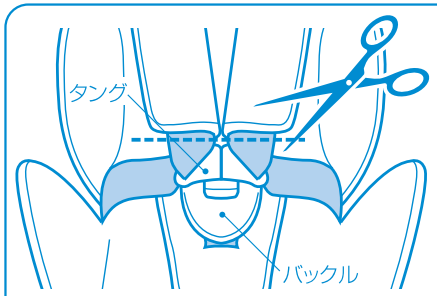
ご利用にあたって

⚠警 告

①本装置は説明書どおりに取り付けてください。
②車のシートベルトの種類や座席の形状により、説明書どおりに取り付けできない時は、使用しないでください。
③幼児用ベルトがゆるんだ状態で使用しないでください。ベルトにゆるみがあると、首に巻付き窒息する恐れがありますので、必ず正しい長さでご使用ください。
④ジュニアシートでご使用になる際、車のシートベルトにチャイルドシート固定機能付がある場合は、固定機能を解除してから取り付けてください。機能が作動するとお子様が締め付けられ危険です。
⑤背もたれのみでの使用はしないでください。
⑥衝突事故や装置を落とすなど、強い衝撃を受けた場合は使用しないでください。
⑦装置にお子様が乗っていない場合でも、車のシートベルトで装置を固定してください。
⑧装置にお子様を乗せて使用される時は、バックルを外さないでください。
⑨お子様がバックルのボタンを押してベルトを外したり、ベルトから抜け出ないように注意してください。時々タングがバックルから外れていないことを確認してください。
⑩後部座席に人が乗る場合、2ドア・3ドアの助手席や1BOX等乗員の乗降口側には、緊急時の脱出に支障となり危険ですので取り付けないでください。
⑪車のシートベルトや装置のベルトを傷付けないように注意してください。傷ついた場合、衝撃時に十分な効果が得られません。傷ついた場合は使用しないでください。
⑫走行中に装置の調整や操作をしないでください。停車してから行なってください。
⑬ご使用中に車のシートベルトがゆるむ事があります。時々確認して、ゆるくなっている場合は再度取り付け直してください。
⑭装置を助手席に取り付けた時、シフトノブやサイドブレーキに干渉する場合は、運転の妨げになり危険ですので使用しないでください。
⑮エアバッグが装備されている座席では**後ろ向きでは絶対に**使用しないでください。事故の際、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け危険です。
⑯装置のカバー・クッション材等を外して使用しないでください。また改造等はしないでください。本来の効果が発揮できなくなります。
⑰お子様を乗せセットできましたら、腰ベルトで骨盤がしっかり拘束され、肩ベルトがゆるんでいないか確認をしてください。
⑱走行中は、お子様を装置から降ろさないでください。急ブレーキや万一の時、お子様を支えきれなくなり危険です。
⑲走行中は、お子様に固いもの・鋭利なもの、おもちゃ等で衝突時に危害を与えるものは持たせないでください。重大な傷害を受ける恐れがあります。
⑳お子様を装置に乗せたまま車内に放置しないでください。太陽光で車内が高温になり死亡につながる場合があります。
⑳お子様を乗せる際、装置が熱くなっていないことを確認してからご使用ください。

⚠注 意

①装置は車専用ですので、車以外の使用はしないでください。
②装置にお子様を乗せたまま、車への取り付け・取り外しはしないでください。
③装置を屋外で放置しないでください。太陽光・雨などで機能を損ねる原因となる恐れがあります。
④装置から落ちる危険がありますので、装置の上で立ち上がったり、中腰にならないようにご注意ください。
⑤装置に食べ物、飲み物をこぼさないようにしてください。汚れや故障の原因となります。
⑥車のドアに装置を挟まないように取り付けてください。
⑦衝突時に荷物などでお子様がけがをしないように、装置の近くに物を置かないでください。



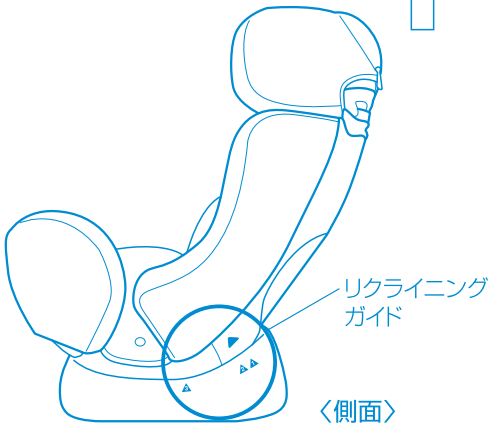
〈緊急時のご対応について〉

緊急時は、慌てず速やかにお子様を救出してください。赤いボタンを押してバックルからタングを離し、お子様を降ろしてください。赤いボタンを押してもタングが外れない場合は、チャイルドシートのベルトを、はさみ等で切ってお子様を降ろしてください。

各部の名称

〈正面〉

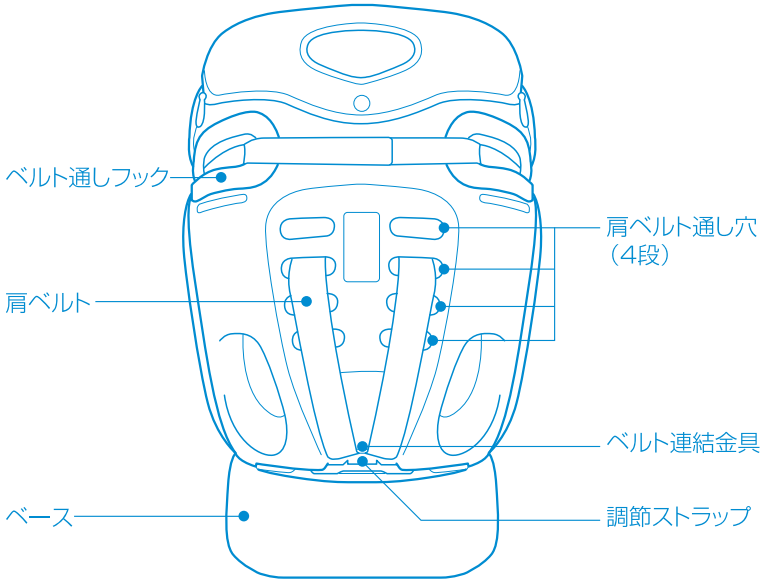
肩ベルト通し穴
ベルトパット
肩ベルト
肩パッド
タング
バックル
腰ベルト
腰パッド
バックルパット
ベルト調節レバー
ベース
調節ストラップ
リクライニングレバー



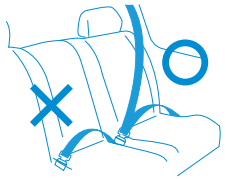
〈側面〉

取扱説明書
（保証書付）

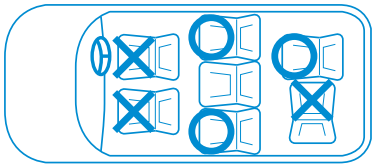
〈背面〉



車輌取付け可能箇所



○ 取り付け可能　× 取り付け不可



- 助手席にはエアバッグが装備されているため使用しないでください。
  事故の際、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け危険です。
- 進行方向に対し、後向き・横向きの座席には取り付けられません。事故の際、装置の機能が有効に発揮できません。
- 2点式シートベルトの座席は、取り付けられません。

チャイルドシートの使い方

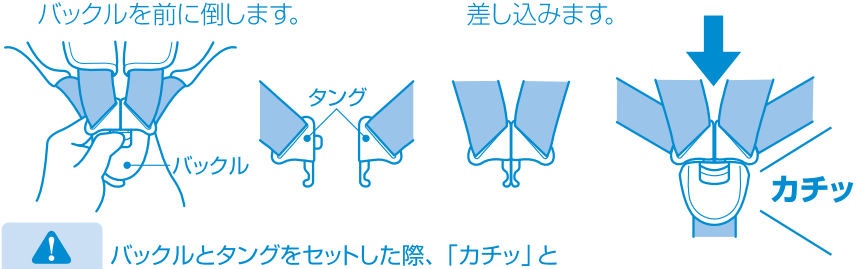
バックル・タングの使い方

1

バックルの赤い部分を引き押し、タングをバックルから解除し、お子様が座れるようにタングを左右に開き、バックルを前に倒します。

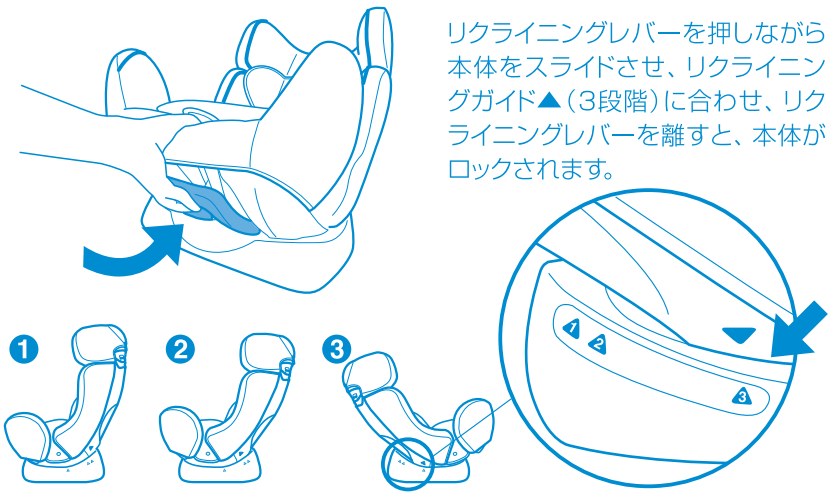
2

お子様を座らせ、左右の肩に肩ベルトをかけ、タングを真ん中に合わせ、バックルが「カチッ」と音がするまで差し込みます。



注意 バックルとタングをセットした際、「カチッ」と音がしたことを確認してください。

リクライニングの調整



リクライニングレバーを押しながら本体をスライドさせ、リクライニングガイド▲（3段階）に合わせ、リクライニングレバーを離すと、本体がロックされます。

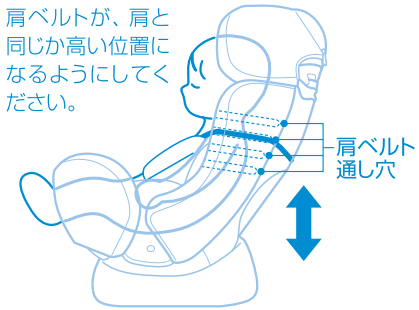
ベルトの調整

1

調節ストラップを引きすぎた場合は、ベルト調節レバーを押し、肩ベルトを手前に引いてください。

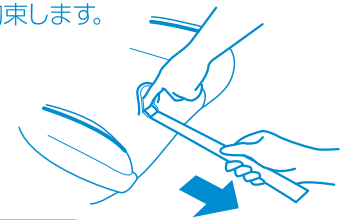
〈高さ調節〉

肩ベルトが、肩と同じか高い位置になるようにしてください。



2

肩ベルトの高さ調節ができましたら調節ストラップを引っ張り、お子様を拘束します。



補足

調節のめやすは、お子様の鎖骨とベルトの間に指一本入る程度に調節してください。

セット後の確認

- 肩ベルトが左右肩にかかっていること
- 腰ベルトで骨盤がしっかり拘束されていること

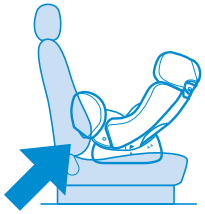
ベビーシート（後ろ向き）の取り付け

〈グループ0＋〉…… 適用体重 ～13kg

取り付け方―1（助手席側）

1

お車の進行方向に対し、後ろ向きに装置を置き、お車の背もたれと隙間がないように接していること、ぐらつきがなく安定していることを確認してください。

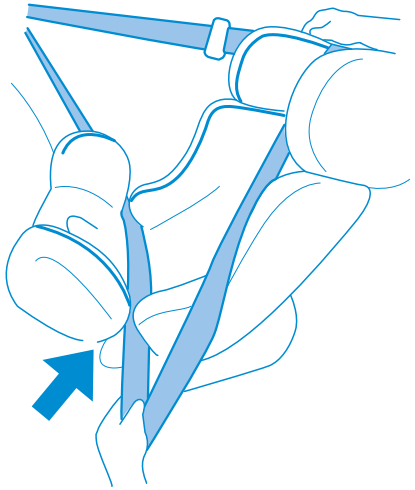


注意

隙間がないようにする

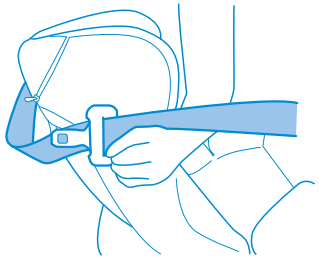
2

お車のシートベルトを引き出し、装置のフックにかかるように、シートベルトを通してください。



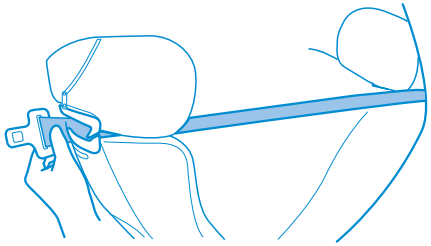
3

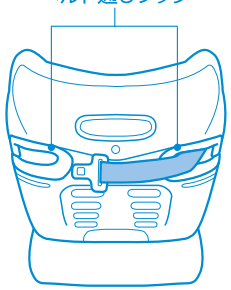
シートベルト金具とシートベルトを後にまわします。



4

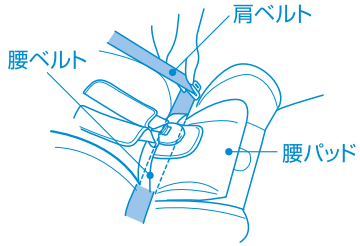
下図のように、ベルト通しフックにシートベルトを通してください。

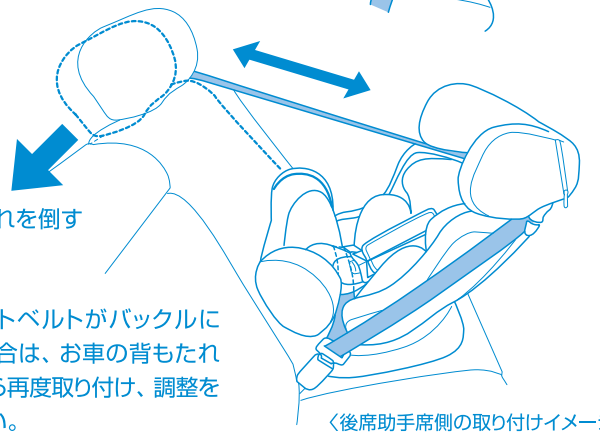




5

腰ベルトとベルト通しフックに通した肩ベルトをお車のバックルにセットします。
お車の腰ベルトは装置の腰パッドの下にいれてください。





〈後席助手席側の取り付けイメージ〉

補足 お車のシートベルトがバックルに届かない場合は、お車の背もたれを倒してから再度取り付け、調整をしてください。

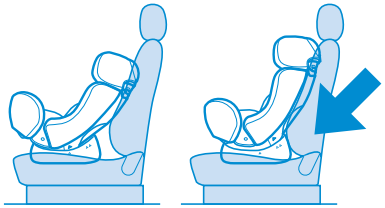
チャイルドシート（前向き）の取り付け

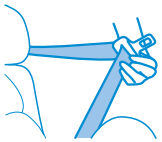
〈グループⅠ〉…… 適用体重 9kg～18kg

取り付け方―2（助手席側）

1

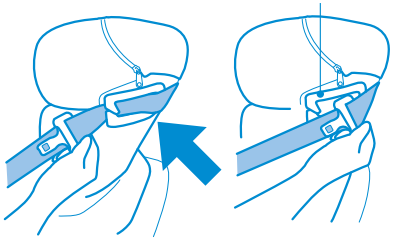
お車の進行方向に対し、前向きに装置を置き、お車の背もたれと隙間がないように接していること、ぐらつきがなく安定していることを確認してください。

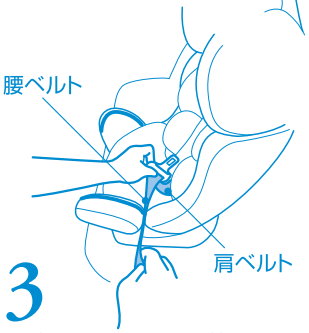




2

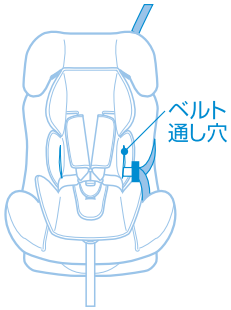
お車のシートベルトをいっぱいまで引き出します。
下図のように、ベルト通しフックにシートベルトを通してください。

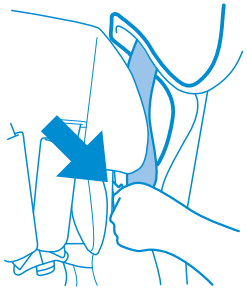


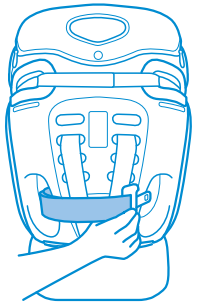


3

お車の腰ベルトを装置の背と座の間に通し、肩ベルトと腰ベルトを装置の背もたれにあるベルト通し穴に通します。

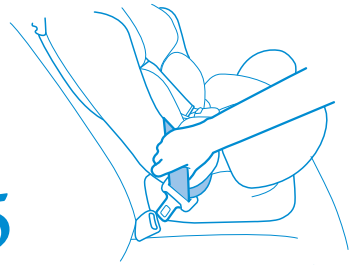


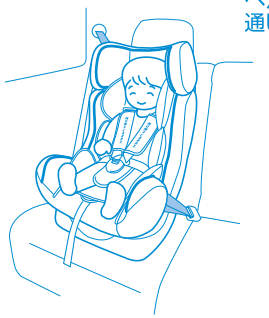


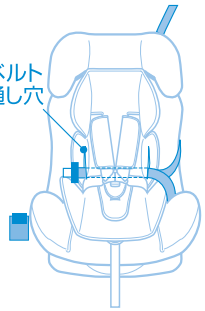


4

ベルト通し穴から背面に通したシートベルトを反対側のベルト通し穴から肩ベルトと金具を引き出します。







〈後席運転席側の取り付けイメージ〉

5

ベルト通し穴から引き出した金具とシートベルトをバックルにセットします。

※装置の上部を前方に引っ張った際にぐらつきがなく、大きな隙間ができないようにしっかり固定してください。

お車の腰ベルトがピーンと張るように、装置をお車のシートに押し付け、肩ベルトを引っ張り上げて固定してください。

〈後席助手席側の取り付けイメージ〉

警告

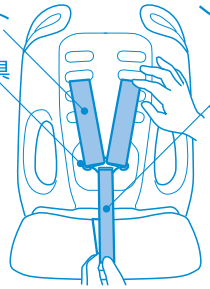
上記の内容を満たしていない状態で使用しないでください。
装置の機能が十分に発揮せず危険です。

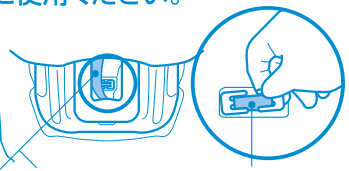
ジュニアシートの取り付け

〈グループⅡ〉…… 適用体重 **15kg～25kg**

ベルトの取り外し方・取り付け方―3（助手席側）

ベルト、バックルを取り外してご使用ください。



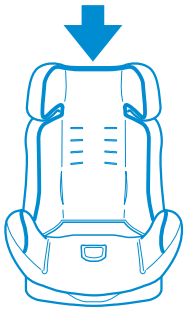


ベルト調整レバーを押して肩ベルトを引き出し、ベルト連結金具から肩ベルト・調整ストラップを取り外します。

ベース裏側の取り付け金具を外し、バックルとバックルベルトを引き抜きます。

1

肩ベルトをベルト通しフックに通し、肩ベルトを肩にかかるように通します。
腰ベルトがお子様の腰骨の低い位置にかかるようにお車のバックルにセットします。
「カチッ」と音がするまで差し込みます。



2

腰ベルトが緩んでいないように肩ベルトを引っ張り、確実に装着してください。

※装置の上部を前方に引っ張った際にぐらつきがなく、大きな隙間ができないようにしっかり固定してください。

〈助手席側取り付けイメージ〉

セット後の確認

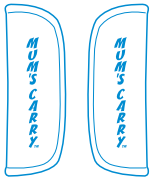
- シートベルトにねじれがなく、お子様にフィットして腰ベルトが取り付けフックに掛り、腰骨の低い位置であること。
- 肩ベルトが、お子様の首にかかっていないこと。
- 車のシートベルトのタングとバックルが、確実にセットされていること。

各部のお手入れ

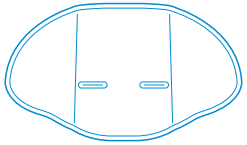
カバー・パット・本体

■カバー・パット

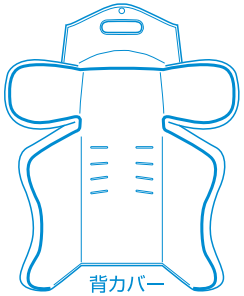
- 中性洗剤を使い、手洗いしてください。
- 塩素系漂白剤は色落ちしますので、使用しないでください。
- 風通しのよい日陰で干してください。
- しっかり乾くまで使用しないでください。
- アイロンがけはしないでください。



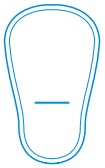
ベルトパット



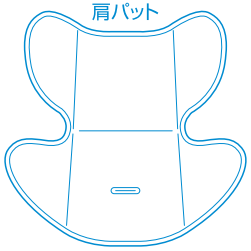
肩パット



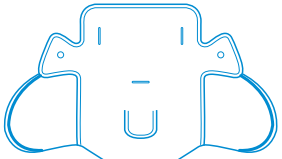
背カバー



バックルパット



腰パット

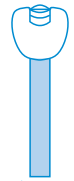


座カバー

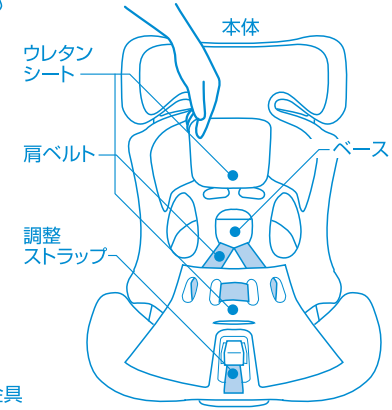
■本体、ベルト、バックル・金具

- 乾拭き、またはよく絞った布で水拭きしてください。
- 風通しのよい日陰で干してください。
- しっかり乾くまで使用しないでください。
- 調節ストラップと肩ベルトは、お手入れした後、ベースに収納してください。

タング



バックル

取付金具

ベルト連結金具